

かさねの色目の花あそび No.44, 45, 46

【色目】若草 <表：淡青 裏：濃青>

早春の野原に若草が萌え出た情景。植物によって濃淡はあるが、若草色といえば、大体が明るい緑で、でも緑や黄を帯びたクスマミも感じる、いわゆる和の色だ。

【色目】花柳 <表：青 裏：淡青>

名称からは花（写真右）を付けた柳のようだが、この色の組み合わせだと、葉が青々とする前くらいの柳のことかも？



【色目】蓬 <表：淡萌黄 裏：濃萌黄>

夏の色目で（上2つは春の色目）、夏場の生育した蓬の色を表しているらしい。蓬の葉の裏面は白い綿毛が密生して白っぽく見えるが、葉の表と裏の組み合わせでもなさそうだ。



これら3つの色目を、それらしく淡い緑と濃い緑を組み合わせながら表現してみた。



◀上 テマリソウの濃淡。テマリソウはビジョナデシコの園芸品種。人間は、こんなものまで作った!! マリモのような緑の草玉は、花ではなく、花弁や雄蕊、雌蕊が、緑色の萼片のように変化し集合しているそうだ。

◀下 テマリソウの濃淡に、ポリシャスの濃淡もプラス（濃いめの緑の葉に加え、先端部分に、淡い緑の新葉が芽吹いている）。



▼馬酔木の残った枝を、そのままボトルに。艶やかなきりっと整った緑葉の先に、柔らかい新芽の淡い緑が加わっている。



←これは馬酔木の花だよ。

